

2022年2月28日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

住友不動産×サントリーグループ オフィスビルで持続可能なPETボトル資源循環を実現へ リサイクル・啓発活動を3/1(火)から開始

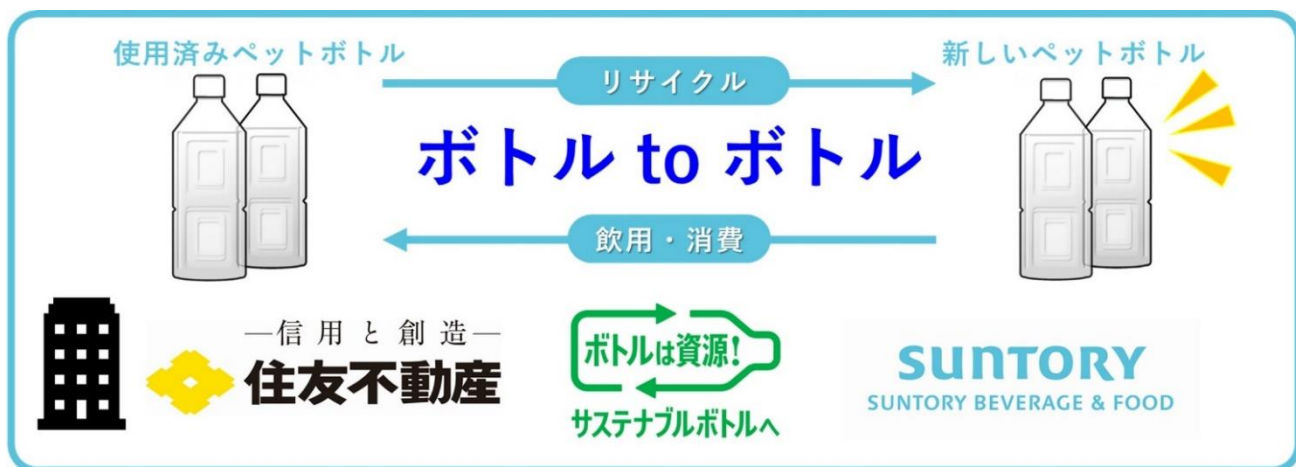
住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順、以下「住友不動産」)は、サントリーグループのサントリー食品インターナショナル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:齋藤 和弘、以下「サントリー」)と協働し、PETボトル資源循環に関する取組みを、3月1日より当社賃貸オフィスビルにて開始しますので、お知らせいたします。

今回の取組みは、新宿区内に所在する当社賃貸オフィスビル3棟で回収された使用済みペットボトルを、高度リサイクルによりサントリーの飲料用PETボトルへと再生する「ボトルtoボトル」水平リサイクルシステムを構築し、継続的に運用するものです。

あわせて、住友不動産グループが運営するオフィスビル併設型コンビニエンスストア「リーベンハウス」においてリサイクルPETボトルキャンペーンを実施するなど、資源循環の「見える化」によってさらに分別を推進することで、テナント企業・飲料メーカーと一体となって、循環型社会の実現に貢献してまいります。



リサイクルPETボトルキャンペーンの様子

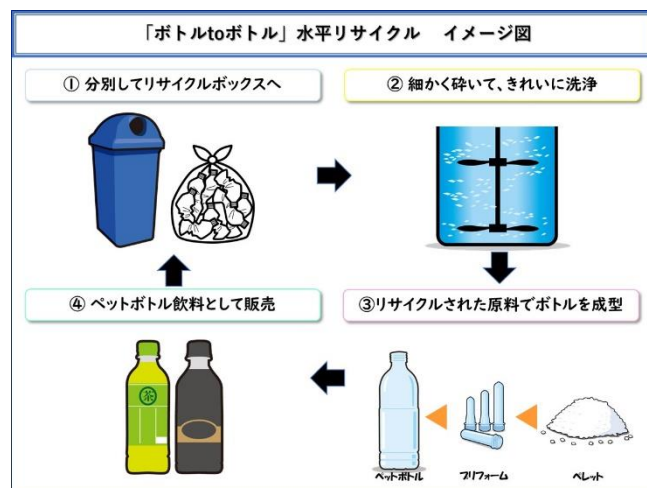


1.社会的背景

プラスチックは人々に高い利便性をもたらす一方、一部で適切な処理がなされないことで海洋汚染問題も生じており、喫緊の対策が求められています。

この現状を受け、日本でも「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が2022年4月に施行予定であり、循環型経済(サーキュラー・エコノミー)への移行に向けた環境整備が進んでおります。

プラスチックの中でもPETボトルは、資源として現時点でもリサイクル率が高く、プラスチック全体の資源循環を先導的に推進する存在として注目されています。



2.今回協業に至った経緯

サントリーは2012年に国内清涼飲料業界で初めてリサイクル素材100%のPETボトルを導入^{※1}したことを皮切りに、高度リサイクル技術を開発^{※2}するなど、積極的に「ボトルtoボトル」水平リサイクル^{※3}を実用化・推進しており、2019年に策定した「プラスチック基本方針」では、「PETボトルの100%サステナブル化^{※4}」を2030年目標に掲げております。

住友不動産の230棟超のオフィスビルから回収されるPETボトルは、年間1,000t超(500mlPETボトル約5,000万本分^{※5})であり、これまでも3R^{※6}活動などの取組みを進めてまいりました。

今般、日本全体でリサイクルを推進する機運がさらに高まる中、循環型社会の実現に向けた取組みをより一層推進するべく、サントリーと協業するに至りました。

まずは新宿区内の大規模オフィスビル3棟にて取組みを開始し、順次拡大を検討してまいります。なお、この3棟の排出量は約140tであり、新宿区全体の大規模オフィスビル回収量^{※7}の約7%に相当します。

※1 メカニカルリサイクルとして

※2 「FtoPダイレクトリサイクル技術」、協栄産業(株)など4社で共同開発

※3 使用済み製品を原料として使い同一種類の製品につくりかえるリサイクルのこと

※4 リサイクル素材・植物由来素材を活用し、化石由来原料不使用とすること

※5 1本あたり20g換算

※6 リデュース・リユース・リサイクル

※7 「新宿区事業用大規模建築物データファイル」より。再利用計画書をもとに、事業用途に供する部分の床面積の合計が3,000㎡以上の建築物の排出量を集計

【今回対象となるオフィスビル】



■新宿住友ビル



■住友不動産新宿グランドタワー



■住友不動産新宿ガーデンタワー

3.啓発活動について

PETボトルは、ガラス片や飲み残しなど、不純物等が混ざっているとPETボトルに再生できないため、「きれいな分別」が水平リサイクルにおいては肝要となります。これまで、多くの企業が入居する賃貸オフィスビルにおいては、個社ごとの排出者意識が希薄化し、キャップ・ラベルの分別を伴う、高い品質のPETボトルを均一的に回収することが難しいとされていました。

この課題を解決し、テナント企業と一体となって賃貸オフィスビルにおける資源循環を推進するべく、住友不動産とサントリーは、3月1日より資源循環をより身近に感じることができる2つの啓発取組みを実施し、今後は当社の他のオフィスビルへの展開等を検討してまいります。

【対象3物件で開始する啓発取組み】

- (1)啓発ポスターを全テナントに配布・掲示します。
- (2)オフィスビル併設型コンビニエンスストア「リーベンハウス」にて分別を実施したお客様に、リサイクル素材100%のPETボトル飲料商品をプレゼントする「リサイクルPETボトルキャンペーン」を実施します。

<啓発ポスター>

ご利用者のみなさま **ペットボトルの分別**にご協力ください

- ラベルをはがす
キャップとラベルは材質が違うので外します
- つぶす
ボトルの容積を減らしたくさん保管できます
- キャップをはすす
キャップがないと小さくつぶれて効率的に運べます
- リサイクルボックスへ
最後はリサイクルボックスへ
- 飲み残しがあるペットボトルにリサイクルできません
飲み残しゼロにご協力ください
- 飲み残し なし

ボトルは資源!
サステナブルボトルへ

<リサイクルPETボトルキャンペーン>

みんなで環境貢献!
ボトル ♪ ボトル リサイクル

ラベルをはがして 飲料1本GET!

キャンペーン期間 3/1 >> 3/31

- リーベンハウスでサントリーのペットボトル飲料を3本購入
- 飲み終わったらラベル・キャップを外してキレイなボトルをリサイクルボックスへ
「PETリサイクルボックス」へ投入
ボトルは資源! サステナブルボトルへ
- 3本分のラベルと購入レシートをレシで やさしい選茶 に交換
※多く取り戻してください

購入対象商品は「ペットボトル」のみです。
※ラベルをはがし、キャップを外して清潔な状態で投入してください。
※お茶の味は選茶コーナーでご確認ください。



<リーベンハウスについて>

住友不動産グループの泉レストラン(株)が運営する、オフィスビル併設型コンビニエンスストア「リーベンハウス」は、オフィスビル特化型の店舗として、住友不動産の大規模オフィスビルを中心に、現在23店舗で展開しております。

CONVENIENCE STORES
Rieven House

店舗の内部の様子を3つの写真で紹介しています。